

HAND MADE
Burnt

Guarantee

Fernandes Guarantees This Instrument
Against Faulty Workmanship
and Materials



FLG-70BS ¥70,000



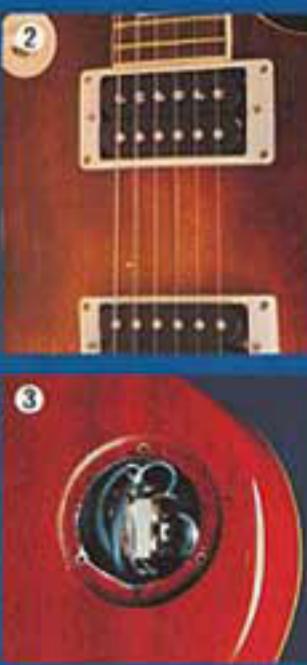
FLG-85BL ¥85,000



FLG-90VOBS ¥90,000



FLG-100CS ¥100,000



バーニー FLG シリーズは、レスポール・スタンダードモデルのオールドを、フルコピーしたものです。

このギターは数あるオールドギターの中でも特に評価が高く、最高のエレキギター、エレキギターの基準とまで呼ばれています。

ボディーはマホガニーの一枚板にメイプルトップを組み合わせ、表面の口は削り出しによって出してあります。ネックはマホガニー材を使用して、セットネック構造になっています。最近ではメイプル材を使用していますが、これは主に強度を重視したからで、初期には、狂いが少なくて、しかも音響的にもすぐれていると思われるマホガニー材を使っています。

外観上の大きな特徴は、ボディーかざりのセルが表面側のみであることと、ヘッド部にあります。

スタンダードモデルのヘッドは、現在のカスタムモデルに見られるものよりひとまわり小さくこじんまりした感じで、ヘッド角度18度です。またヘッドどうらがわの半円状の飛び出しじゃなく、ごくあっさりしたデザインとなっています。

FLG シリーズでは、これらの特徴をすべてオリジナル通りにしてあります。

ボディーのマホガニー材にはブライスしのものを使い、表面のメイプルも単板で、もちろん削り出します。

ネックはマホガニーワンピースで、原材の丸木からネック材にするまで、常に一貫して最適条件でシーズニングがほどこされています。ネックは、ヘッドの形状、重量、角度などとともに、音に多大な影響があります。FLG シリーズは特にこの点を重視して作られています。

FLG-90

FLG-90はピックアップにオープン型(TYPE V)を採用したもので、塗装にオールド風の大変こった方法を用いています。TYPE V ピックアップはハンバッキングオープンタイプで、今までのものと比較して、おそらくはド派手です。あのスーパーディスクションサウンドがパッチリ出ます。

トグルス위치やコントロール類にも信頼性を重視して、特に高級なものを使っています。

糸巻は、FLG-85以上の機種には“音質”及び“信頼性”から、グローバー104、102を使用しています。「糸巻で音が変わるか?」と考える方が多いと思いますが、このクラスのギターでは確かに変わります。(たとえばクリーンの軽いものとグローバーとを付けかえてみるとよくわかります)。

FLG-100

FLG-100はカシュー仕上げ(クラシックの手工ギターによくみられる塗装)の美しいボディーが特徴です。光りすぎない深い感じの色つやは、重厚で、高級品にふさわしいものです。手ざわりも良く、他の塗装のようにすべりすぎることもありません。手にすいつくようで、なおかつスムーズに指を滑らすことができます。

使いこめば使いこむほど「味」がにじみ出てくるギターです。

カラーはチェリーサンバースト(CS)、ブラウンサンバースト(BS)、ブラック(BL)などがあります。

FLG-70、FLG-85も同様です。

①糸巻はグローバー、ヘッド角18°(FLG-85CS)

②オープン型のTYPE V ピックアップ

③信頼性の高いスイッチ

FLG-120VOBS

¥120,000



FLG-120

バニーFLGシリーズの最高級品 FLG-120 は、私達の「エレキギターとは何か。良いエレキギターとはどうあるべきか」という問に対する答を具現化したものです。

材質的な問題や、パーツの問題について、「楽器としてのトータル・バランス」という観点から解答を導き出し、表現行為の具としての楽器、レスポンスの良さ、追従性の良さ、表現主体（ミュージシャン）の意志を忠実に音に変えることが可能なギター、を最大の目標にしています。

更に良い楽器はミュージシャンの意志を表わすだけでなく、逆にミュージシャンの心をつき動かし、音楽表現へ向かわせることが出来るものと確信しています。

塗装は一本一本すべて塗装技術者の感覚のみで塗られています。ですから全く同じ塗装は2度と出来ません。一本一本がそれに個性を持った、その人だけのギターになります。

仕様

ボディー：マホガニーハーフパンチース・メイプルトップ
トリ出しネック：マホガニーワンピースヘッド：ホールドタイプ
ヘッド角度：18度
グローバー：102ピックアップ
超高感度ハンバッキング TYPE II-G
コントロール：ボリュームコントロールX2トーンコントロールX2スイッチ
3ポジション
プリセッテッドスイッチ
カラー：VOB, VOB5, VOR, VORS, VBS, VCS

FLC-120

バニーに新らしく加わった FLC シリーズは、レスポールカスタムのシリーズです。

現在のギブソンはプライしたマホガニーを使っていますが、スタンダードシリーズで得た経験から、ボディー材に一枚板を採用しました。（昔はギブソンも一枚板だったのです）。トップはFLGシリーズと同じくメープル単板削り出しです。

カラー及びゴールドメッキには、カスタムモデルの特徴であるはなやかさと同時に高級感が出るよう心がけました。

仕様

ボディー：マホガニーハーフパンチース・メイプルトップトリ出しネック：マホガニーヘッド角度：14度
グローバー：102G
ピックアップ：超高感度ハンバッキング TYPE II-G
コントロール：ボリュームコントロールX2トーンコントロールX2スイッチ
3ポジション
プリセッテッドスイッチ
カラー：チエリーサンバースト (CS), ブラウンサンバースト (BS), ブラック

FLG, FLC シリーズ左用特注は 20%UP です。

FLC-120CS

¥120,000



⑤



⑥



- ①特に工夫した箇所
- ②別用ケース(¥15,000)に取扱うた リビングルーム
- ③弾きやすいラインティング

FLC-85BL
¥85,000



⑦



FLC-100CS
¥100,000



⑧



FSG-58CR
¥58,000



⑨



FSG-75WN
¥75,000



⑩



FLC-85

FLC-85はカスタムモデル中、最高のお買得品です。基本的な音づくりの姿勢は高級機種と全く同一で、価格的な制約のなかで可能なことはすべてやりつくしました。

糸巻は新方式トルク調整付きのダイキャストで、グローバータイプにありがちなツマミのゆるみを防止しています。

ピックアップは高感度ハンバッキングTYPE IV-Gで、木部の構造との関係から、はなやかな音づくりになっています。

カラーはチェリーサンバースト(CS)、ブラック(BL)の2種類です。

FLC-100

FLC-100には、特に選んだマホガニーとメイプル材を使用しています。ボディー材の良さは、製材からシースニングまで、一貫して管理しているバーニーならではのものです。

糸巻にはグローバル02のゴールドメッキを使用しました。

ボディーカラーは、チェリーサンバースト(CS)とブラック(BL)です。

FSG-58

その持ちやすさ、身体にフィットするライン、疲れをじらない軽いボディーとスリムなネック、これがSGモデルの魅力です。

FSG-58はセットネック構造で、SG特有のボディーの「なり」を生かしています。ピックアップはハンバッキングTYPE Iで、ハードな音にも、メローなサウンドにも使える幅広い音楽性を持っています。

糸巻はもちろんダイキャスト・ロートマチックタイプです。

FSG-75

SGモデルは、レスポールと同じピックアップを装備した場合ですら、レスポールと大きく音が異なります。それは、ネックやボディーの影響がきわめて大きいことを示しています。

バーニーFSGは、ピックアップだけでなく、ボディー関係を含めて音づくりがなされています。

FSG-75のマホガニーには特に気をつかってSG本来の良さを引き出そうと努力しています。

糸巻はグローバル04です。
カラーはFSG-58、75ともワインレッド(CR)、ウォールナット(WN)のほか、限定生産でホワイトなどがあります。

- ⑦ ハズブルモデル特有のサンバーストカラー
(FLC-85CS)
- ⑧ ブラックカラー(F-100)
- ⑨ 音響的に手つかずの良さを保つセミフロント
- ⑩ ダイキャストロードマチック仕様